

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	ゴービーPLUS		
○保護者評価実施期間	2024年10月2日	~	2024年10月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2024年10月2日	~	2024年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2024年10月2日	~	2024年10月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6	(回答数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対面でご家庭に訪問し、顔を見ながら報告を行い、最近の児の様子や困りごとなどを聞き取り、支援に活かしている。	期間が空いた場合には、連絡を取り、様子をお聞きすることを心掛けている。 可能な限り、支援員2人で訪問し、児の様子を観察することで、主観的要素が強くならないよう多角的な視点で支援を行っている。	今後保護者がフルタイムで勤務されている場合等、ご家庭への訪問で報告が難しい場合、電話やオンラインでの報告を行うとともに、報告後に書面を郵送し、保護者により分かりやすい形となるよう努める。
2	(保護者が希望された場合) 就学先の見学会や就学相談会にも同席する等、細やかな支援を行っている。	保護者と綿密に連携し、児にとって良い環境となるよう、一緒に考えるよう寄り添っている。	保護者だけでなく、学校側ともより良い関係性を構築していく。
3	同事業所内の訪問リハビリ等を利用しているケースでは、日常からの情報交換や共有を行い、それぞれの支援に活かせている。	リハビリ場面の見学を行ったり、学校での様子をリハビリスタッフに伝え、問題点や良い点の共有を行っている。	事業所内で会う機会の少ないスタッフもいるため、報告書を用いて、毎回の情報伝達がきちんと出来るよう検討する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の研修や学習の機会が少ない。	事業の開始からまだ日が浅く、システムとして構築化されていない。 これまで肢体不自由児を対象に考えていたが、発達障害児の需要、依頼が多くなってきた。	研修や交流会へ積極的に参加していく。また障害特性や関わり方などを紙面に起こし、学校等への支援としても活用していく。
2	訪問先からの相談に対し、その場で対応しきれないことがある。	事業の開始からまだ日が浅く、システムとして構築化されていない。 これまで肢体不自由児を対象に考えていたが、発達障害児の需要、依頼が多くなってきた。	研修や交流会へ積極的に参加していく。また障害特性や関わり方などを紙面に起こし、学校等への支援としても活用していく。
3	活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信が少ない。	職員は兼務しているため、業務時間の難しさがある。	個人情報の関係上、具体的な取り組み等の発信は難しいが、ホームページ上で業務概要についてもう少し詳細を掲載するなど、事業についての情報は発信していく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表					保護者からの事業所評価の集計結果		
児童デイサービス ゴーピーPLUS									
							公表日	2024年 10月 21日	
							利用児童数	6	2024年 10月 21日 回収数 6
環境・体制整備	1	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			ご意見を踏まえた対応
	2	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1		2			ケースに応じて準備できるものは対応している。今後も相談の上必要に応じて準備していく。
	3	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5			1			面談室は設けているが、基本的にはご家庭に訪問し、契約、報告等を実施している。
	4	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	1			ご意見		契約時に説明を行っているが、更に丁寧な説明を行うことを心掛ける。
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	6						基本的には作業療法士と理学療法士の二人が訪問している。
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1					丁寧な保護者からの聞き取りや子どもの観察を行い研修の機会を設け専門性を高めていきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6						
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5	1					訪問先で先生からのご意見も踏まえて作成している。先生からのお話しの内容も含め、再度お伝えするよう努める。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4			2			重要事項説明書等にも記載しており、契約時にそれに沿って説明は行っている。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6						
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6						
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6						
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2			3	仕事をしている為、こちらの状況に合わせて、こういった場合にはこの方法で接してはどうかななどの対応策と一緒に考えて下さっています。		当事業所では実施していないが、情報提供出来るよう、事業所内でも情報収集していく。
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができると思いますか。	5	1					相談支援員や関係機関との情報共有も行っている。訪問のない日にも連絡を取り、状況や心配事をお聞きし、共通理解を深めるよう努めている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1					訪問支援後に基本的にはご家庭に訪問し、報告、面談を行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6						
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		1			相談を受けた内容により、知っている情報をお伝えし、相談支援員にもその事を連絡・共有し、保護者から相談支援員にも相談するようお伝えしている。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6						
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5	1					初回訪問は児の観察を中心に行うことが多く、助言に至っていないケースもあります。その都度の説明を再度行なう実施することを徹底していきます。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5	1				訪問中に支援を行なながら、先生と話をし、都度振り返りを行なっているが、時間が取れない場合には電話で振り返りを行なうよう徹底していく。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5			1		報告書に沿って基本的には対面（都合によりオンラインの場合があり）で共有しているが、オンラインの場合にも後日報告書を持参する等、対面でお話しできる機会を作る。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			3		今年度から自己評価を実施しているので、公表していく予定です。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4			2		該当する事例はないが、緊急事態が起った場合には訪問先と協力し実践する。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1		デイとしては行っており、安全についての研修に参加している。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6					
	28	事業所の支援に満足していますか。	6					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2024年10月21日

児童デイサービスゴービーPLUS

利用児童数：6 2024年 10月 21日 回収数：4

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			手作りの玩具を教えて頂きすぐに取り入れさせて頂きました	今後も具体的で分かりやすい助言や説明を継続します。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3				今後も知識技術等の研鑽をおこなっていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3				
4	保育所等訪問支援を利用したことでの課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1			継続して先生方と連携し、支援していくことで、少しでも解消・軽減に繋がるよう努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3				これからも訪問先と連携し、園・学校の生活が円滑になるよう支援していきます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
①適切なアドバイスを下さって助かります。皆様雰囲気のやわらかな方ばかりで子どもたちもリラックスできています。もっとこうした方がいいなど厳しい意見などがありましたら教えて頂きたいです。 ②特に指導は受けていないので評価はいたしかねます。				①ケースにより、先生方の対応が良く、児の困り感も少ない場合もあるが、今後は事業所内の研修の機会も設け、訪問先へ紙面や資料提供の形も利用しながら、支援方法や障害特性等についてもお伝えできるように取り組んでいきます。 ②初回訪問は児の観察を中心に行うことが多く、助言に至っていないケースもあります。上記に加え、その都度の説明を再度先生方に行いながら実施することを徹底していきます。		

事業所における自己評価結果						
事業所名		児童デイサービスゴービーPLUS				
		公表日 2024年10月21日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境制整運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		必要な物がある場合、随時、安価な物を購入して検討することは出来ると思う。デイで使用している物を一時的に用いることができる。	今後も相談の上必要に応じて準備できるよう知識の向上や情報収集に努める。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		2人で訪問していたがケースによって1人ずつに振り分けている。既存の利用児については場合によって1人の支援の事もあるが、おおむね2人で支援できている。新規の希望者は断らざるを得ない場合もある。	ケースによって保護者と相談しながら訪問頻度の調整を行う。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		2		デイとしては行っており訪問支援としても参加していく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			今年度から実施している。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			今年度から実施している。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		外部評価の実施を検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		会社全般では各種研修などを実施、参加しているが、保育所等訪問としての研修やそれに関連した研修の機会は得られていない。	今後は積極的に研修に参加していく。
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2			
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		開始時は難しいが、継続ケースについては先生との情報共有を反映している	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		2	ツールは使用していないが、細かな行動観察を行い、報告書などに記載し記録として残している。	必要な場合には用いることも検討する。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		しっかりと打ち合わせではないが、事前に支援内容や母からの依頼など、LINEworks等も使用しながら連携している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		・これもしっかりと打ち合わせではないが、共有できるよう話をしている。 ・しっかりと話をして情報共有している	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2			今後も訪問先の理念や支援手法を尊重した支援を実施していく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		モニタリングのみの時間を取ることは難しいが、支援時間の中で適宜意向の確認やモニタリングを実施している。	今後も支援時間内にしっかりと情報共有を行っていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		児が利用する放デイや訪問リハ・看護での様子を聞いたり、相談して行っている。相談支援員とも報告、相談が出来ている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		2	中学進学先の検討などには立ち会ったが、就園・就学のケースはまだ1ケースのみで、母から学校へ伝達が出来ていたため、こちらから改めて情報共有などは行っていない。	困難が予想されるケースでは就学前より学校と情報共有を図り、保護者からの対応で可能なケースには訪問時に確認、共有を行っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		2		研修や交流会等への参加を積極的に行っていく。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		2		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		当事業所では実施していないが、情報提供出来るよう、事業所内でも情報収集していく。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		初回や訪問前の挨拶のとき支援の趣旨や経緯をお伝えしたり、また目的などを記した紹介の書面をお渡ししている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		訪問支援後に家庭に訪問した際にお話を聞く機会を作っている	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		デイとしては座談会や参観等の機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		2		活動概要については、HP等で発信できるよう検討していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。		2	兼務しているため、訪問先と都合の良い時間を確保することの難しさもあり、十分な体制は整っていない。	可能な範囲で、訪問先と連絡が取りやすい時間帯に電話でお話しする等し、努力する。
訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		2	支援時間内に情報共有は行っているが、カンファレンスとしての時間は取れていない。	可能な範囲で、訪問先と連絡が取りやすい時間帯に電話でお話しする等し、努力する。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1	・デイとしては実施している ・デイとして行っているが訪問支援事業としてはおこなっていない	デイで行っている訓練等には参加している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		2		デイとしては行っており、安全についての研修に参加している。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		2	現在該当する事象は起こっていない。会社としての形式はある	現在そのような事例はないが、今後ヒヤリハットや事故等が生じた場合には、再発防止に向け検討する。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		デイとしては実施している	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		2	現在該当する児はおらず、身体拘束となることを行う予定はない。	やむを得ず必要となった場合には、説明や支援計画への記載を行う。